

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	4RB-2401
研究課題名	希少ヤマネコの糞由来 DNA にもとづく高効率・高精度な遺伝的モニタリング手法の確立
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	アニコム先進医療研究所
研究代表者名	松本悠貴

1. 評価結果

評価ランク：B

2. 委員の指摘及び提言概要

糞由来 DNA 解析が、イリオモテヤマネコとツシマヤマネコの動物種判別・雌雄判別に有効であることが確認された。ツシマヤマネコでは高精度な判別法が確立され、研究目標は概ね達成された。一方、イリオモテヤマネコではヘテロ接合度が極めて低く、個体識別や遺伝的多様性評価にさらなる検討が必要であることが示された。近交係数が高いにもかかわらず近交弱勢が確認されていないことは極めて重要な知見である。一方、サンプル数の不足、糞 DNA の品質のばらつき、研究体制の強化が課題として挙げられ、今後はサンプル採取に秀でた研究者などの追加や効率的なサンプル採取法の検討が求められる。希少種保全に向けた遺伝的モニタリング手法の確立が期待される。